豊かな実りは自然の土壌から



障害対策

障害の改善・軽減を図り作物の健全生育を促し、

高品質な農産物の 生産と多収量により

安定経営



【今月号の表紙】



栽培者紹介 桜井 浩様ご夫婦です。

茨城県小美玉市野田777番地で、二ラ専業農家です。ハウス・露地を含めて3haを栽培。年間通しての出荷を行い、高い実績を上げておられる方です。

奥様も感性の豊かな方で、「甘味が増し繊維も感じられない 食感にやっと美味しくなったニラができて嬉しいです。」と のこと。

水送玉市野田地区は、茨城県でも有数の二ラ栽培地です。一農家当たりの耕作面積も多く出荷量の多い産地です。こんな産地の中で桜井様は2年前から土づくりの大切さに着眼し、有用微生物であるトーマス菌と出会い、数々の作物の使用実績を聞き感動しました。以来、トーマス菌や関連資材を投入して土づくりから挑戦し、土の変わり様を実感しました。

更に品質は、勿論良くなりましたし、何より収穫量がふんだんに多くなり、そして 病虫害などの障害も激減して、年々良くなって来ているのを実感して頂いているようです。







切れば切るほど、株が大きくなり収量も増し、茎もみな真上を見て生長してます。

土づくり資材

『初年度の使用資材』

- 1.トーマスくん・・・5ℓ
- 2.穂宝源・・・・・・5ℓ
- 3.海藻源肥·····15袋
- 4.刈取り前に、バイオ ガード500倍液葉面 散布







『自然環境農法』栽培と経営紹介

小ネギのハウス栽培

栽培地 那須塩原市上郷屋地内 ◆ 室井博文様

当初は、水田転作として大豆や麦などを栽培していましたが、気象条件に合い、より収益性の高い転作作物として選択したのが「ホウレンソウ」でした。7年間栽培してきましたが、周年的な栽培では、ホウレンソウは夏場の高温に弱く栽培しにくいため、2007年から高温に強い「小ネギ」を選択すると共に、天候に左右されにくいハウス栽培として今日に至っています。

栽培面積は、ハウス41棟で1.0haです。年間平均2.5回転栽培するので、延べ面積は2.5haになります。7~8月のピーク時には家族のほか8名のパートさんを地元から雇用し栽培しているとのこと。

生産に当たってこだわっていることは科学的に合成された肥料や農薬をできるだけ控えると共に、美味しいネギを安定生産・供給することがモットーだそうです。







室井様の声 以来現在では全てのハウスで使用していますが、本当に土は勿論ですが、品質などすべてが良くなって来ております。

















→ 🕣 包装ラインに「ラインは自動機」で→→→🙃

『自然環境農法』ホウレン草栽培紹介

標高1200mの清々しい高原で



栽培地

栃木県日光市川治温泉高原地区

この地は、昭和24年に満州義勇軍の引揚者や農家の次男、三男 の方々20戸が、鶏頂開拓団を組織し、大変な苦労の下、不毛の 地を切り開いた高原野菜の産地です。

当初は雑穀等の栽培でしたが、後に高原大根の栽培が成功し ました。大根の栽培も数十年経ましたが、連作障害や価格の問 題、更には自然災害の回避から、雨除けパイプハウスによるホウ レンソウ栽培に切り替え、今日に至っています。



寉見さんの栽培面積は、ハウス51棟で約1.8haです。この面積を平均で 3.5回転栽培するので、延べ面積6.3haになります。栽培期間は、4月下旬 から9月下旬(最後の播種)までです。作付け期間中は、家族のほか福島 県会津地方から毎日10名のパートさんの協力を得て栽培に取り組んでい ます。特に栽培面でのこだわりは、微生物を投入し、化学肥料や農薬をで きる限り少なくし、硝酸態窒素の含有量の少ないホウレンソウ栽培とのこ



寉見さん親子です

と。(微生物研究会に所属し、多種多様の微生物を使用してきたが、一番効果の高かった微生物は、トーマ ス菌との評価)で以来愛用しておられます。

6年前に不慮の事故により脊髄を骨折したそうですが今は元気。趣味は魚釣りとのこと。



『自然環境農法』茨城での栽培と取組み紹介

茨城県鉾田市滝浜地区、石崎久夫様です

石崎様は、春メロンと秋にアールスメロン・さつ ま・人参・水稲など多種栽培をしております。

2年前より「おいしいさつまをつくりたい」の一言からお付き 合いが始まりました。【茨城事務所、阿部担当】

さつまいもは葉の大きさが幾分小さく肉 厚で色合いも良し、収穫量も良く、品質も 4Lサイズで秀品率92%位でしたから大満足です。メロンも稲 作も良さそうですとの事。(取材9月2日でした)

「俺らも食べるし、皆さん買ってまで食べてくれるから美味し い物作ってやりたいと思っているんだ」と言っていたのが印象 的でした。(消費者から見てもありがたい石崎様ですね。)





茨城県鉾田市常盤地内 北山靖様、右下は奥様です。

北山様は、現在水菜を主体に1.8haのハウス栽培を営んでお 概要 ります。以前は、ほうれん草・チンゲン菜など化成肥料だけ 頼りに栽培していましたが、土は硬くなり思うような栽培結果が出ず思案し ていた折、バイオ・グリーンの阿部さんと出会い色々、「自然環境農法」の 栽培のことを聞いている内に奥様が突然「これだ、これからはこうした美味 しい野菜を作りたい」と、早速土づくりから取り組みを開始しました。

まずは堆肥を入れ、次に土づくり資材、そして土壌診断に基づいた施肥設 計による有機肥料を入れて耕起後、被覆して40日経過、驚きました。柔ら かい肌触りと、香ばしい土に。

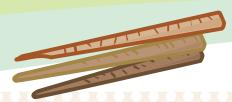
以来2年順調に栽培出来るようになり感謝・感謝と喜んで頂いております。





『自然環境農法』栽培と経営紹介

「自然環境農法」自然薯栽培



栽培地 茨城県笠間市笠間地内 ◆ 深作様ご夫妻

栽培概要

この圃場にて6年間連作で、6年間農薬は一切使用し ておりません。

他の生産者は何年か連作しますと、成長が思わしく無くなってしまう 為、イモ化成を追肥にて大量に撒布しますが、当農園では、有機質肥 料のみでの栽培で、問題無く成長できております。天然物を真似て食 べ難く、表皮を黒くする必要はありませんので、真直ぐに、皮ごと擦っ て食べられるよう白く綺麗に、粘りを強く栽培しており「美白とろろ」 と自信を持つて命名しました。



深作さん夫妻です





育ったワン!! 11年前までの25年間、医薬品販売の仕事をして

いまして、薬で直る病気は少なく、症状を抑える対

症療法が主でした。ある担当していた医院が食事療法にて予防医学を取り入れて指導していました が、病気にならない体作りを勉強しました。現状を考えますと、薬・添加物入りの食品・農薬含有の野 菜・塩素入りの水道水・電磁波・排気ガスさらに放射性物質等生きていることで体内に毒素が蓄積さ れ、ストレスも加わって、病気になるのが当たり前の生活をしております。家族・身近な人・家の野菜 を購入して頂けるお客様方が、食することで体内の毒素が少しでも抑えられ、排出されるデトックス 効果を前提に考えて、すべての野菜は忌避剤、遮光ネット、寒冷紗を利用して、害虫・雑草を抑えて栽 培に取り組んでいます。







りっぱに











「自然環境農法」で町興しの取組み 今回は長野県中野市を紹介

中野市は、長野県北信地区に位置し、上信越高原国立公園を背景に冬季オリンピック開催地志賀高原の玄 関口とし、又産業・文化の発祥の地、そして、きのこ栽培では技術革新は元より生産量においても日本一を 誇る、自然豊かな地域です。

こんな豊かな地でも、農業分野に於ては、高齢化が進み、本格的専業農家は減少傾向にあり生産意欲が失 われつつある今日。これではいかんと立ち上がった組織があります。「自然環境農法研究会中野支部」発起 人で支部長に就任し活躍中の青木千代紀氏を取り上げてみました。



この人が青木さんですが、美味しそうに熱燗ですか?お酌の横の人、気になります ね。???さて青木様は、きのこ栽培を主に他にキュウリ・生姜・人参などを栽培し ております。2年前の出会いから当農法の素晴らしさに惚れ込み頭角を現し、次々 と部会結成を呼びかけ、先頭に立って組織拡大を図り、農業者のやる気意欲を引 き出そうと奮闘しています。

自らもトーマス信者と言いながら率先して、堆肥製造から始め土づくりの手本を示 し栽培に取り組んで、大きな結果を示しておられる方です。

これからも「自然環境農法研究会中野支部」のみなさん、心一つに、美味しい野菜 作りと健康作りに頑張って頂きたいと願っております。

















での検討会など定期的に開催。みなさんの盛







『自然環境農法』各方面からの主な結果報



24年6月からの各地の栽培状況や結果報告、そして理事長自ら圃場訪問して実録した状況など「自然環 境農法」を実践しての結果ですが、紹介できるのはほんの一部分で申し訳御座いませんがご了承下さい。

岐阜県古川市の斉藤様

高麗人参で話題に、そしてグリンピース 栽培では2年連続の金賞受賞です。







長野の生姜一今年は良く出来そうです。





山形のさくらんぼ 門脇様



当地区でも異常気象で軒並み収穫量が減少 でしたが、門脇様圃場は別格だったそうです。

で8年同じ圃場で、連続有



JAあやせ管内

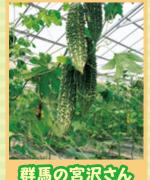
マト・キュウリ・メロン共、全て 然環境農法栽培者が出荷量を含







でぶどう1年目で、糖度は20.6度で、旨いと好評でした。



トマトの後作ですが 良いですよ。



茨城県笠間市のすだれ桜 樹勢回復施工見事回復傾向に

飯山地区での栽培状況報告です 慣行栽培区

た、驚きですよね。「勿論管理 面もありますが」。



左側の写真は里芋ですが、こ こちらは、異常気象で皆さん収穫 んなに歴然と違いが出まし 量が激減なんですが、この圃場で は何のその、お陰で泥棒に合い已 む無くこんな看板を。

NPO法人自然環境農法研究会

〒321-3221 栃木県宇都宮市板戸町753 TEL 028-902-1007 FAX 028-667-8915 ホームページhttp://www.biogreen.jp/npo/

株式会社バイオ・グリーン

〒321-3221 栃木県宇都宮市板戸町753 TEL 028-667-1000 FAX 028-667-8915 ホームページhttp://www.biogreen.jp/